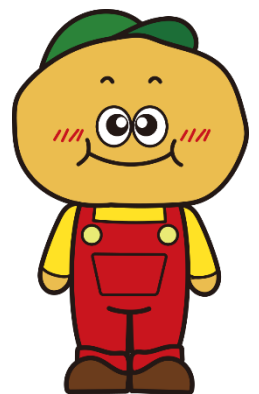


## 檜原都民の森と4つの問い

檜原都民の森は平成2年5月にオープン。来園者へ自然体験を通じたレクリエーションの場を提供するため、毎年多くの自然教室、木工教室、特別イベント、かずま数馬地区合同イベントなど多くのイベントを開催し、来園者に活用してもらっている。年間の来園者数は約20万人。

1. もっと若い人が参加したくなるようなイベントとは？
  - 現状、大学生以下の利用者は非常に少ない
  - 小学生、中学生、高校生、大学生、それぞれどんなイベントだと良いか？
2. 多様な人が楽しめる展示物とは？
  - 展示物などを見ている人の年齢層や目的は幅広い
  - 展示物を出す場所は？森林館？木工館？駐車場？登山道？
3. ニホンジカの増加が原因で起こっている問題をどうしたらいい？
  - そもそもこの問題を知っている人が少ないのでは？
  - 実際にどのような対策をしたら、シカにもヒトにもハッピーだろうか？
4. 希少生物をみつりょう密猟やとうくつ盗掘から防ぐためには？
  - ブログやSNSで希少種の場所を公開する人がいる
  - サンショウウオや昆虫の盗掘、希少植物の盗掘していく人がいる



# 東京都檜原都民の森

都民の森は秩父多摩甲斐国立公園のなかにある、東京都環境局が管理している三頭山山麓にある山岳国立公園。指定管理者制度により、檜原村が特命で管理運営を行っている。エリアのほとんどは特別自然保護区に指定。1年間の運営費は約億2千万円。



## 1年をとおして、様々な自然教室を開催・運営

